

アジアオストミー協会会長に就任して

常務理事 高石 道明

**会員の皆様、賛助会員の皆様、医師、看護師の皆様、読者の皆様、**

謹んで新年のお祝いを申し上げます。今年も、皆様の格別のお働きによって、わが国のオストメイトの医療、介護、福祉に更なる発展が見られることを確信します。

昨年 11 月に、JOA 初の国際大会「アジアオストミー協会第 6 回大会」が東京で開催されましたが、会員の皆様のご理解とご協力及び賛助会員の絶大な財政的ご支援などのおかげで、大成功の内に無事終わることが出来ました。大会の誘致と準備に当たったもののひとりとして、心底ホッとしました。大会の内容の報告は、本号別稿に譲るとして、この大会において私が今後 3 年間の AOA 会長に選任されたことをご報告し、皆様の今後一層のご支援をお願いいたします。

大会期間中の 11 月 15 日午前中に、第 11 回 AOA 代表者会議が開かれ、AOA の執行機関である「調整委員会 Coordination Committee」の新メンバーが全会一致で選ばれました。この委員会は、会長、副会長 1 名、事務・財務担当役員 1 名および無任所役員 1 名の、計 4 名で構成されます。これまで 15 年の AOA の歴史の中で、香港で開かれた第 1 回大会で当時の JOA 会長岡田さんが副会長に選ばれ、マニラの第 4 回大会で稲垣前会長が無任所役員に、1995 年のバンコク大会で私が稲垣さんの後任となり、併せて事務・財務担当役員も引き受けることとなった経緯があります。

このたび選ばれた役員は、副会長にマレーシア協会のペナン支部長であるアブダル・ラーマンさん、事務・財務担当役員には同じくマレーシア協会の事務局長であるコン・キン・チャイさん、無任所役員にフィリピン協会の事務局長ロナルド・ローラさんです。平均年齢が 20 歳ほど若返りました。

さて、これからの AOA のために新しい会長として何を指して活動するか、前途は必ずしも容易ではないと思いますが、幸いにも私が起草し提案して採択された「AOA 東京宣言」がその指針となります。国内に困難な情勢を抱えているとはいえ、わが国のオストメイトはアジア諸国では際立って先進的な医療・福祉制度を享受しており、アジアの仲間のために役立つ支援を出来る立場にあります。JOA と AOA との連携を一層強化し、協会未設置の国にも AOA の活動を広げ、宣言の目指す目標を少しずつでも達成していきたいと願っています。どうか引き続きよろしくご指導、ご支援をお願いいたします。